

復活節第6週 主日礼拝

2019年5月26日 第一礼拝(午前8:00~) 第二礼拝(午前10:30~) 夕拝(午後7:30~)

前奏	(新聖歌41)		
招きのみことば	『ヨハネの手紙 第一』1章5-7節	司会者	
※開会の賛美	新聖歌22「御神の愛をば」	—	同
※信仰告白	「使徒信条」(新聖歌p.826)	—	同
代表祈禱		司会者	
感謝の賛美	新聖歌286「シャロンの花」	—	同
聖書朗読	『イザヤ書』6章1-8節(旧約1134頁)	司会者	
黙想		—	同
説教	「私を遣わしてください」	笹川雅弘先生	
※応答の賛美	新聖歌392「主の愛の汝が内に」	—	同
感謝の献金	(新聖歌58)	—	同
感謝祈禱		片山 初子姉	
諸報告		司会者	
※頌栄の賛美	新聖歌62「天つみ民も」	—	同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	—	同
※祝福の祈り		笹川雅弘先生	
※後奏	(新聖歌59-7)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立お願いします)

(演奏機の曲は、楽譜と違う表現で流れる事があります。)

第一礼拝	司会説教：近 伸之牧師	音響：片山 勝三兄 献金：沼田佐代子姉	
司集	会：片山 勝三兄 会：小林 洋子姉 (小山 千春姉)	映像・音響：山崎 敬典兄 説教の録画：片山 浩司兄	C S 担当：佐藤 繁実兄 ※掃除当番は右表参照

説教メモ

今週の暗唱聖句

「主は情け深く 正しい。／まことに 私たちの神はあわれみ深い」

(『詩篇』116篇5節)

[敬和学園の学生用] 説教者のサイン欄 ( )

個人、団体からの来信

2019年5月26日

教団より定期便/「山形からの恵み」Vol.25/敬和高・全校労作引率の浅妻和章先生よりお礼状/村上福音キリスト教会より、領収証および集会案内[6月23日(日)]/「ビルマの琴音」第33号/新潟聖書学園チャペルのご案内[5月28日(火)]/新潟朝禱会通信第192号

先週の集会出席者数

5/19(日)	教会学校	幼児男子1 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児計1 成人男性-	幼児女子1 小学女子3 中学女子- 高校女子- 女兒計4 成人女性1
	第一礼拝	男2 女3	※月に一回、書道教室を開催
	第二礼拝(子ども)	男11 女22	5/20(月) 月曜家庭集会 (休会)
	夕拝	男2 女児5	5/22(水) 救 禱 会 男5(求2) 女4
		5/24(金)	5/24(金) ※しゃべり場タビタは新潟ランチョンに合流
		5/24(金)	金曜祈禱会 男1 女5

諸集会のご案内

	※月に一回、書道教室を開催		
月曜家庭集会	5/27(月)夜	山崎岩雄兄宅	
バルナバ祈禱会	5/29(水)午後7:30	教会堂	司会：横堀 信子姉
しゃべり場タビタ	5/31(金)午後1:30	渡邊智子姉宅	問合せ先：長谷川睦子姉
金曜祈禱会	5/31(金)午後8:00	教会堂	

6/2(日)復活節第7週

第一礼拝 午前8:00	司会説教：近 伸之牧師	音響：片山 勝三兄 献金：沼田佐代子姉	聖餐準備：伊東 一馬兄 配 餐：伊東 一馬兄
教会学校 午前9:00	担当：片山 初子姉		
聖餐礼拝 午前10:30	司会：近 伸之牧師 集会：小山 千春姉 (笹川 清子姉)	映像・音響：山崎 敬典兄 聖餐の配餐：伊東 一馬兄 説教の録画：近 伸之牧師	感謝祈禱：小林 洋子姉 ※掃除当番は下表参照
教会学校奉仕	5/26[佐藤兄] 6/2[片山姉] 6/9[近牧師] 6/16[佐藤兄] 6/23[片山姉] 6/30[近牧師]		
掃除当番順	5/26[横堀姉] 6/2[渡邊姉] 6/9[猪爪姉] 6/16[片山姉] 6/23[小林姉] 6/30[小山姉]		
主日の予定	C S 教師会 定例役員会	昼食後 会計後	礼拝堂
夕拝 午後7:30	司会説教：近 伸之牧師	聖書『ローマ人への手紙』7章14-25節	

報 告

1. 礼拝の感謝

主日礼拝の恵みを感謝します。本日は一斉講壇交換のため、笹川雅弘先生がみことばを語ってくださいました。愛餐や交わりにおいてみことばの感謝を分かち合いました。近牧師は五十嵐キリスト教会において奉仕をしています。各教会の礼拝が守られますように。

2. 教団からの連絡

先週、十勝めぐみ教会協力宣教師の全トンスク先生が多重事故に遭い、重傷を負われました。教団より寄せられた情報を掲示しています。先生とご家族、教会のためにお祈りください。

3.

『世界動物百科』に、チドリがネコに狙われたときの様子が、ひとりの小学生の記録として載っているそうです。ネコがチドリの巣の近くを通りかかりました。ちょうど、メス鳥が卵を抱いている最中でした。近くで見張っていたオス鳥がネコを見つけ、小走りにネコに近付きました。ネコもそれに気付き身構えます。そのネコの目の前で、オス鳥は翼を片方だけ広げてバタつかせ、ケガをして飛べないようなかっこうで、巣から遠ざかる方向に逃げます。ネコは追いかけてきます。こうして、チドリはネコを巣から遠ざけるのです。チドリの親は、仮病を使い、時には腰をぬかしたふりまでして、外敵の注意を自分のほうに引きつけ、卵やヒナを守るのだそうです。このことを「擬傷」というのだそうです。つまり、傷ついでケガをしたように見せかけるといことです。それにしても、卵やヒナを守るために、チドリの親は敵の前に自分の命をさらしものにするのですから、ありゃ仮病だよ、などと言ってバカにはできません。人間のやる仮病とはずいぶん違うようで、チドリの前に恥ずかしくなります。

ところで、イエス・キリストは十字架につけられて死にましたが、それはまさしく、あなたや私を外敵から、そして滅びから守るためでした。キリストは、十字架の死をひとつとして避けようとはしませんでした。

むしろなすがままにさせ、裁判に身をゆだねて処刑場に向かわれたのです。そして十字架の上で、「わが神、わが神。どうしてわたしをお見捨てになったのですか」という苦痛の叫びをおあげになったのです。これは、仮病でも擬傷でもありませんでした。キリストは、本当に神から捨てられたのです。なぜでしょうか。それは、あなたや私の身代わりとしてだったのです。

私たちの罪は、神の裁きの対象になっています。天地万物を造られた神をしりぞけ、不正や汚れのなかで自己中心的に生きている私たちは、神の正しさと清さの前に、滅びへと裁かれてゆく罪人なのです。しかし、神は私たちを滅ぼし尽くすお方ではなく、私たちが救われ、神の祝福を受ける者となる事を願っておられるのです。そのために用意されたのがイエスの“身代わりの死”でした。罪のない神のひとり子が、私たちの罪と病いと滅びを背負って十字架に殺されたのです。神は、それほどまでに、私を、そしてあなたを愛しておられるのです。この、神の愛の事実を、自分のためと確信して生きること、これが信仰なのです。

「何の働きもない者が、不敬虔な者を義と認めてくださる方を信じるなら、その信仰が義とみなされるのです」  
 (『ローマ人への手紙』4章5節)



ライフライン

毎週土曜日 朝5:15~5:45 BSNテレビにて放送中  
 ☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



6/1(土)「癒しの音色を奏でる」キャサリン・ポーターさん

ハープ奏者のキャサリン・ポーターさんは、イギリス人で、ケンブリッジ大学とギルドホール音楽大学院で音楽を学び、卒業後は、ロンドンでハープ奏者として活動していました。宣教師として来日する予定だった2011年3月には、東日本大震災が起り、被災地への思いを強めたキャサリンさんは、東北での活動を希望しました。現在は、岩手県を拠点にハープ演奏を通して人々のこころに癒しを提供するとともに、キリストの福音を伝えています。キャサリンさんのハープ演奏をお届けするとともに、お話を伺います。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata  
**BEGIN.** ここから始まるあなたの伝道。

豊栄キリスト教会は、ライフラインを祈りと献金で支援しています。

2019年度教会目標 「次世代への継承」

父母の信仰を子どもたちに伝えよう。キリストを信じて生きる幸いを次世代に引き継ごう。

「あなたに仕えているヌンの子ヨシュアが、そこに入るのだ。彼を力づけよ。彼がそこをイスラエルに受け継がせるからだ」(申1:38)

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区  
 豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15  
 TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155  
 ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>  
 電子メール: [info@toyosakakyokai.net](mailto:info@toyosakakyokai.net)  
 ブログ: <http://www.toyosakakyokai.sblo.jp>

